

九州特定郵便局長協会 災害救助用ボートを贈呈



贈呈された災害救助用ボート

日高義美さん

旭日双光章を受章

西新町在住の日高義美さん（88歳）が、旭日双光章（高齢者叙勲）を受章され、6月27日、町役場で伝達式が行われました。

日高さんは、宮之城町議を8期32年にわたり在職し、シルバー人材センターの創設や鉄道記念館の設立など、地域発展のために、ご尽力されました。今回、それらの功績が認められ、受章されました。



勲章を胸に付け、賞状を持つ日高義美さん

6月12日、九州特定郵便局長協会から本町へ災害救助用ボートが贈られました。
贈られたのは、船外機付4人乗りゴムボート1隻です。
寄贈式は、町消防本部で行われ、九州特定郵便局長協会鹿児島北部地区の久森貴夫会長は「災害がないのが一番ですが、万が一のときに備えてください」と話されました。
ボートは、持ち運び、組立、収納が容易にできるので、災害時に機動力のアップが期待されます。

ものづくり企業振興会 高校教諭と意見交換会



意見交換会の様子

6月27日、さつま町のつくり企業振興会と高校の就職（進路）担当教諭による意見交換会が行われました。

意見交換会には、川薩、始良地区などの公私立高校12校と同振興会の企業8社が出席し、企業は、高校新卒者の離職率の高さや、学力・忍耐力の低下を指摘し、工場見学などを通じ、企業のことを勉強してほしいと意見が出されました。学校からは、縁故採用による推薦依頼が負担になりかねないとし、面接試験のみならず、学力試験をしてほしいと要望も出されました。

また、高校教諭は、会員企業である（株）井川産業、アロン電機（株）、（株）片桐工作所の企業訪問も行いました。